

令和3年度指導教諭による「授業力向上講座」③④

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、前号に引き続き2つの授業力向上講座を紹介します。

③10月11日(月) 一関市立千厩中学校 第3学年 英語 北村 良子 先生

授業：「人々について(わい)謝する(い)をおぼえよう」The Story of Chocolate

1 授業参観

導入場面での既習事項の復習や、関係代名詞主格 who を使った新出文法の練習や確認の場面等において、タブレット



や電子黒板等の ICT 機器を使い、who の意味の理解や基本文法の定着につなげました。また、自分が紹介したい人物について、who を使った2～3文のクイズを作ってやりとりするとい

う言語活動を設定し、生徒同士の十分なやりとりを通して who の実際の場面の使い方について理解を深めていきました。学習の目的に応じた ICT の活用と、生徒の興味・関心をもとにした表現活動を重視した言語活動の設定により、楽しみながら言語材料の定着を図る授業展開でした。



2 説明・協議

英語科における、ねらいを達成させるための ICT の活用の仕方を中心に、言語活動の設定の在り方、新出文法の導入・練習のさせ方等について、参加者の先生方の日常実践をもとに交流しました。

参加者の声 (一部抜粋)

- ・タブレットを用いてのゲーム的要素を含んだ英文の復習やパワーポイントでのより分かりやすい説明等、生徒が意欲的かつ楽しく学べる工夫がありました。
- ・教科書も変わり、進め方や普通の ICT の使い方の交流ができてとても有意義な時間となりました。
- ・タブレットを効果的に使い授業を進めていたのが印象的でした。たくさんの利点、生かせることが多いことが分かりました。

北村先生の授業から学ぶ英語の授業のポイント!



○学習のねらいと、生徒の興味・関心にもとづいた言語活動の設定を行い、活動を通して言語教材の理解及び定着が図られるようにすること。

○生徒が意欲的に学習に取り組むことができるように、学習の目的に応じた ICT 機器の活用を行うこと。

④11月5日(金) 一関市立山目小学校 特別支援 井上 美由紀 先生

授業：国語「五・七・五でつろう」(3,4年) 自立「ことばをあつめよう」(5年)

1 授業参観(VTR 視聴)

主体的に学習に取り組むことができるように、俳句や文に取り入れたい言葉を選ぶ際には、前時に作成したマイン



ドマップをタブレットに入れておき、その中から決めることができるようにしました。俳句や文を書く際には、ワープロソフトを使って書いてもよいこととする等、子どもが自分で選んだ

方法で書くことができましたようにしました。作った俳句や文の発表の際にも、タブレット、口頭等、発表の方法をいくつか提示し、子どもが自分なりに選択した方法で発表することができるようになりました。子ども一人一人の状況に応じた支援を行いながら、学習方法を選択させる等、子ども



2 説明・協議

子どもの実態をもとにした自立活動の設定の仕方や、個に応じた指導の工夫点等について、参加者の実践をもとに交流をし、大事にしたい点について確認しました。

参加者の声 (一部抜粋)

- ・タブレットを使用して学習していることに驚き、感動しました。ぜひ授業に取り入れていきたいと思いました。
- ・国語と自立活動と教科は違って、一斉場面での課題把握、付箋での他者評価、振り返り等、ぜひ取り入れたいと思います。
- ・子ども一人一人に掛けている言葉に心が温かくなりました。授業の最後で、子ども同士で感想を伝え合うことも、とてもよい評価であると感じました。

井上先生の授業から学ぶ特別支援の授業のポイント!



○子どもが主体的に学習に取り組むことができるように、学習状況や実態の把握を十分に行ったうえで、学習方法を子どもに選択させること。

○ICT 機器の活用による利点と目的を明確にしなが授業に取り入れ、個に応じた支援につなげること。